

# みんなのしあわせ

## 主な内容

- いざ災害が起こった時に……………2～3P
- ご芳志ありがとうございました……………7P
- 令和2年度事業報告・決算……………4～5P
- ボランティアセンターだより……………8P
- 歳末たすけあい事業の申請案内 他……………6P



7月10日(土)にバーベキュー会を行いました。晴天の中、美味しいお肉や焼きそばを食べて楽しみました。バーベキューの後は、スイカ割りやアトラクション(点数がかかれたカードの魚釣りゲーム)を行い、夏の思い出となりました。

※新型コロナウイルスの対策を講じながら実施しました。

# いざ災害が起こった時に



9月1日は、防災の日。水戸市は、令和元年度に台風19号で大きな被害に見舞われました。水戸市社協では、被災者支援のために水戸市災害ボランティアセンターを設置し、支援活動を行いました。その経験を踏まえて災害対策についてご紹介します。

【問合せ】地域福祉推進係（☎029-309-5001）

## 令和元年台風19号の被害

令和元年10月12日、台風19号は強い勢力を保ったまま日本に上陸し、関東甲信地方から東北地方まで広範囲に被害をもたらしました。水戸市も那珂川など多くの川が越水、溢水、堤防の決壊で大きな被害を受けました。浸水等の深かったところは7メートルを超え、多くの家屋や田畑が水没しました。

飯富町の被災状況



冠水後



冠水前

## 水戸市社協の災害対策

大きな被害を受けた地域の被災者支援のため、水戸市社協は、10月14日から12月5日まで災害ボランティアセンターを、12月6日から2月5日まで被災者支援ボランティア相談窓口を運営しました。被災された方々とボランティアをつなぎ、災害支援活動として家の中の片づけ、畳上げや土砂の撤去など、多岐にわたる支援を延べ4372人のボランティアの方にご協力いただきました。

近年では、毎年のように全国各地で災害が発生しています。茨城県や水戸市では、大規模水害時における広域避難計画策定ガイドライン、防災ラジオの貸与、土のうステーションの設置などの対策を行っています。水戸市社協においても次のような災害時の対策を行っています。

### ①災害ボランティアセンター運営 訓練の実施・資材の備蓄

災害ボランティアセンターを設置した際に、迅速に被災者のニーズとボランティアをつなぐことがで

きるなど、スムーズな運営を可能とするために運営訓練の実施や他市町村社協との協力体制を構築しています。また、ボランティアの方が災害支援で使用するスコップや土のう袋などの資材を保管しています。

### ②災害時の相互協力に関する協定 締結

災害時の情報収集及び提供、人的支援・救済物資の調達など相互に協力関係を結ぶことに合意を得た、水戸青年会議所・水戸ライオンズクラブなど17団体と協定を結んでいます。

### ③災害に関する普及啓発活動

実際に被災者を支援した水戸市社協は、その経験を踏まえて災害に関する知識や対策等を様々な場面で伝える活動をしています。県立水戸商業高等学校において、令和元年台風19号の水害を教訓に、生徒一人ひとりが災害を我が事として考えてほしいということから、災害ボランティアセンターの経験を講話しました。これからも、災害発生時の備えについて、幅広い世代へ伝えていきます。

## 共同募金と災害支援

災害支援にあたっては、災害ボランティアセンターの運営資金が必要です。その資金として市民の皆さまからご協力いただいた赤い羽根共同募金を活用させていただいています。今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動が実施されます。

また、災害によって被災された方々への支援として全国の共同募金会では、義援金を受付け、被災地にお届けしています。

皆さまのご協力よろしく申し上げます。



詳しくは茨城県共同募金会ホームページをご覧ください。

## 災害支援ボランティアの募集

災害発生時に被災地で活動していただくボランティアを随時募集しています。自分が出れる活動内容に合わせて登録することが出来ます。毎年のように起きる災害では、ボランティアの助けが必要不可欠です。登録方法は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

皆さまのご協力よろしく申し上げます。

(☎029-309-1011)

(※活動の際は、ボランティア活動保険の加入が必要です。)



ボランティア活動の様子

災害時は、地域の助け合い・支え合いがとても大切になります。いざ災害が起きた時に声掛けや隣近所への気配りを心掛け、人々が協力して助け合うことでスムーズに避難ができます。そのような時、町内会や自治会の持つ機能が重要になってきます。だからこそ、水戸市社協では、見守り活動や地域のつながりを支え、誰もがともに支え合う地域づくりを目指しています。

### 助け合い・支え合いの大切さ



地域福祉課  
課長 塙 行弘



## 避難する時に役立つ情報



### ①ハザードマップと避難所の確認

ハザードマップで浸水エリアを確認して避難する場所を確認しましょう。市内の市民センターと小・中学校を指定避難所として指定しています。

ハザードマップと避難所の詳細は水戸市ホームページをご覧ください。



(ハザードマップ  
はこちら)



(避難所  
はこちら)

### ②防災行動計画の作成

一人ひとりの災害時の防災行動計画(マイ・タイムライン)を作成してみましょう。災害時に自分自身の計画をたてて準備することで逃げ遅れを防ぐことが期待されます。

詳しくは、国土交通省関東地方整備局のホームページをご覧ください。



# 令和2年度 事業報告・決算報告



事業報告



決算報告

コロナ禍における事業継続のため感染症対策を取りながら、事業計画の見直しを行いました。新たな取組報告を中心にお知らせします。詳しくは、QRコードからご確認ください。

【問合せ】総務企画課 (029-309-5001)

## 新型コロナウイルス感染症対策実施報告



職員行動記録表の作成、非接触型体温計の配備、相談受付窓口に透明な仕切り板の設置、いばらきアマビエちゃんの普及促進（本会22施設・事業所の登録）、オンライン環境の整備、施設・事業所の活動内容の変更、県・市からの指示事項の徹底など。

## コロナ禍における新たな取組報告（受託事業含む）

### \* 休館中の利用者の安否確認、基礎疾患等のため

#### 利用控えしている利用者への安否確認の実施

利用していない間、健康面、精神面での変化等を確認するとともに、コミュニケーションを図ることで不安感の解消やつながりを実感できるように努めました。

### \* マスク頒布事業の実施

マスク不足を解消するため、不織布マスク50万枚（50枚入×1万箱）を医療関係、福祉関係、教育関係施設・事業所に頒布しました。

### \* 電話による傾聴「もしもし傾聴」の開設

### \* ひとり暮らし高齢者を対象とした暑中見舞いの

交換 「愛の定期便事業」の対象者に、メッセージが交換できる往復はがきの暑中見舞いを送付し、孤独感の解消、個別の生活課題の早期発見・解決支援を行いました。

### \* 手作り弁当の配布（毎月1回）

生活困窮者世帯対象の子ども向け食事会に代わり、弁当の配布を通して、継続的な交流・支援を行いました。

### \* 「愛パークマルシェ」の開催（毎月1回）

愛パーク祭に代わり、障害者就労支援施設等の自主製作品の販売会を行い、地域住民や利用者家族等との交流を図りました。

### \* 金婚記念写真の撮影及び贈呈

金婚祝賀会に代わり、市内写真館において206組の写真撮影を行い、贈呈しました。

### \* 成年後見制度「オンライン相談」の開始

### \* 生活福祉資金特例貸付業務及び住居確保給付金業務の実施



愛パークマルシェ



金婚記念写真の撮影



## 新たな取組・実績報告

**\*市民後見人の誕生（平成30年市民後見人養成講座修了生から）** 県央地域初の市民後見人が6月に1人誕生し、9月に2人目が誕生しました。

**\*常磐大学・常磐短期大学との包括連携協力に関する協定の締結** 大学、短期大学、社協が有する資源や機能等を効果的に活用し、地域福祉の発展と福祉人材の育成に寄与するため協定を締結しました。

**\*地域いきいきコミュニティトークの開催**  
地域住民が地域の課題を話し合い、具体的な活動につながるよう検討しました。「みとの福祉を考える座談会」の後継事業として、市内4地区で開催しました。（4年間で市内34地区において開催予定）

**\*「まちイスプロジェクト」の実施** 地域住民と福祉専門職等が協働して手作りの椅子を3台製作し、福祉施設等に寄贈することで、顔の見える関係づくりと地域の居場所づくりを行いました。

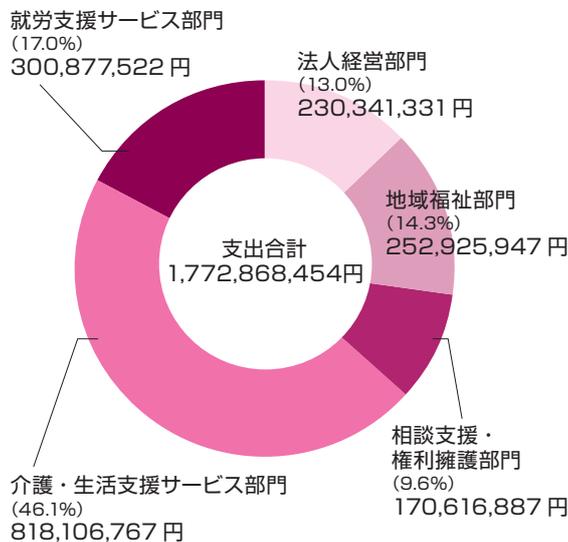
**\*障害福祉基幹型支援センターの受託運営**  
障害者総合支援法に基づき、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として運営を開始しました。

**\*災害時の相互協力に関する協定の締結（2ページと関連）**

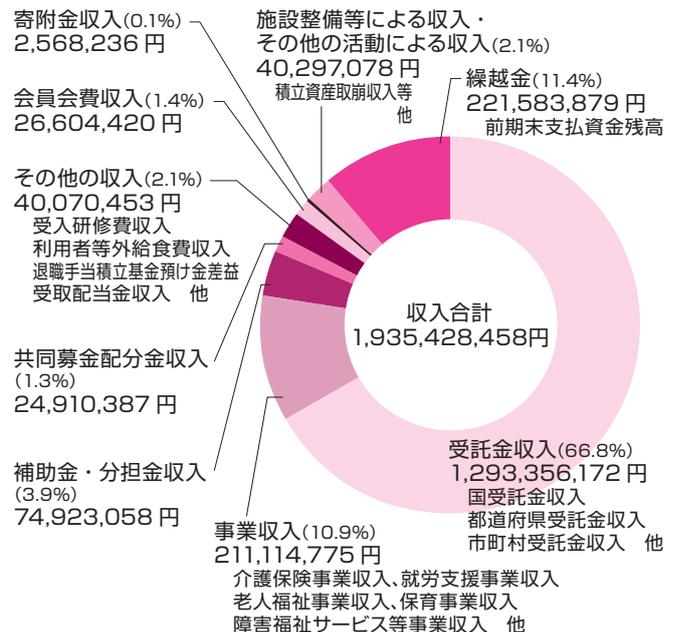
**\*令和元年台風19号被災地区アンケート調査の実施** 困りごとなどの調査結果をもとに報告会を実施し、生活課題の解決を図る支援を行いました。

## 決算のあらまし

### 支出の部



### 収入の部



## 令和3年度 歳末たすけあい事業（援護金助成）の申請案内

広報みと8月15日号や水戸市社協ホームページに掲載しましたが、再度ご案内いたします。令和3年度の歳末たすけあい募金から、在宅で援護を必要としている世帯に助成します。援護金を受取るには、申請が必要です。

助成対象／在宅の方で、次の(1)と(2)に該当している世帯 ※生活保護世帯を除く。

(1)9月1日現在で市に6か月以上居住し、世帯全員の市民税が非課税であり、世帯の月額収入が、下表の基準額以下であること  
収入基準額表

世帯人員	1人	2人	3人	4人	5人	6人
基準額	127,000円	194,000円	264,000円	334,000円	409,000円	467,000円

※7人以上の場合は、1人増えるごとに6万円加算。

(2) 次のいずれかに該当すること

- ① 満65歳以上のひとり暮らしの高齢者
- ② 満65歳以上の寝たきりまたは認知症高齢者のいる世帯
- ③ 義務教育で、準要保護の認定を受けている世帯または特別支援教育就学奨励費支弁区分1段階の認定を受けている世帯
- ④ 重度障害者のいる世帯で、身体障害者手帳1級(聴覚障害者は2級)または療養手帳A・A、精神障害保健福祉手帳1級の交付を受けている方がいる世帯
- ⑤ 未就学児のみを養育している母子・父子世帯

※対象者が、施設入所や6か月以上の長期入院などの理由で、在宅でない場合は対象外です。

申込・問合せ／令和3年9月1日(水)～9月30日(木)(必着)に、申請書に記入のうえ、必要書類を添えて、直接または郵送で、水戸市社会福祉協議会(市福祉ボランティア会館内、〒311-4141 赤塚1-1ミオス2階、

☎309-5001)へ

必要書類や助成条件など、詳細は、お問合せください。

詳しくはこちら▶



緑岡

### 食と運動の大切さ



緑岡支部は、6月26日(土)に福祉講演会を開催しました。「食と運動」をテーマに高齢者の生活に及んでいる影響をお話いただきました。参加者は、事例を交えながらのお話に耳を傾けました。

石川

### 1年ぶりの開催



石川支部は、6月25日(金)に「なかよしサロン」を開催しました。脳トレ、健康体操、手作りのキッチンクロスに挑戦するなど、盛りだくさんの内容で楽しいひとときを過ごしました。



# みなさまのご芳志ありがとうございました

ご寄付は福祉施設等に有効に活用させていただきました。

水戸市社会福祉協議会 令和3年5月～7月受付分(敬称略・順不同)

## 寄付金(社会福祉事業に)

大成女子高等学校家庭クラブ委員/水戸市社会福祉協議会常磐支部/匿名3件  
(令和3年度7月末累計額 78,136円)

## 使用済み切手・プリペイドカード類・物品等

混声合唱団コール水戸/水戸市母子寡婦福祉会/水戸市社会福祉協議会新荘支部・新荘市民センター/豊田光恵/  
水戸更生保護女性会/水戸市斎場/株カワスミ/四つばの会/株第一商会/茨城歌人会/水戸市シルバーハ  
ビリ体操指導士の会見川支部/水戸市社会福祉協議会緑岡支部/富岡ゴム(株)ウォークタウンアウトレット/  
前澤俊子/須能信明/内原すみれの会/橋爪悦子/株水野安吉商店/NPO法人水戸こどもの劇場/朗読ボラ  
ンティア[ひびき]/水戸市国保年金課/ボーイスカウト水戸第4団/金沢はるみ台渡里歌謡教室/(一財)茨城県  
社会保険協会/荘司良一/石川則夫/小島測量登記事務所/矢野電設(株)/岡崎彰志/株ハートコーポレイシ  
ョン/大槻義光/水戸市障害福祉課/サークル・点心/中妻郵便局/白田恵美子/真下寿宣/ガールスカウト茨  
城県第18団/笠原安子/(公社)茨城県看護協会/たまり場かねた/水戸要約筆記サークル萌/島根あさ子/  
公社いばらき被害者支援センター/川又きよ江/池田武男/(一財)水戸市農業公社/市川由里子/ムラテック販  
売(株)/ばるーん・レインボー/みどり幼稚園父母の会/株富士住建/忍垂宣子/株ダイナム/水戸市総務法制課/  
公社茨城県歯科技工士会水戸支部/関雄二/石崎堯/ASA上水戸見和/片岡歯科医院/布の花/宮下かし子/  
水戸保護観察所社会貢献活動係/株ロングライフ/後藤謙一/小泉不二夫/株フジテック/外岡健夫/橋本律子/  
国土建設コンサルタント(株)/手話サークルさくらんぼ/ミュージックベル28<sup>3</sup>響(ひびき)/Cookばーの/茨  
城音訊友の会/坏クリーニング店/坂本早苗/石川市民センター/水  
戸市シルバーハビリ体操指導士の会笠原支部/ガールスカウト茨城  
県第26団/野菊の会/城東ふれあい電話「にじの会」/石井浪子/歌謡  
ボランティアハーモニー/園部美喜子/森島哲/雑賀大介/鈴木久江/  
大関修右/グループホームお母さんの家/話音絵=わおんかい/水戸  
いきいきヘルス体操・陸会/ときわふれあいでんわの会/田口三智子/  
水戸おもちゃクリニック/黒澤保夫/佐藤美紗子/川村和雄/アートセ  
ンタータキタ/城東女性会/水戸市保健推進員城東支部/根本喜美江/  
齋藤ひさ/細谷力/石崎泰子/栗原商事/池田洋子/小柳万里子

## 〈寄付金をいただきました〉



大成女子高等学校家庭クラブ委員様

## 〈メロンをいただきました〉



大槻義光様

## 〈車いすをいただきました〉



ASA上水戸見和様

## 〈食品などをいただきました〉



(株)ダイナム様

## 〈塗装ボランティア活動 ～ペイントセブン・レインボー プロジェクト～



(一社)日本住宅塗装協会様

## 「茨城県災害ボランティア活動支援基金」に係る寄附金の募集について

茨城県においては、災害発生時にボランティアの方々方が活動しやすい環境整備を図るため、災害ボランティア活動支援基金への寄附を募集しています。

- 申込方法 (1)個人からの寄附
- Webサイト「ふるさとチョイス」による申込み
  - いばらき電子申請・届出サービスによる申込み
  - 寄附金申込書による申込み
- (2)団体からの寄附
- 寄附金申込書による申込み

申込みはこちら▶



茨城県保健福祉部福祉指導課 ☎029-301-3157

## 賛助・団体会員会費を募集します

社協会員会費は、地域で行う福祉活動の資金となります。

賛助会員 5,000円(企業・篤志家)  
団体会員 3,000円(社会福祉施設)

地域福祉貢献活動にご協力をお願いします。

茨城県地域福祉推進係 ☎029-309-5001

## 編集後記

今年、新たな毎日の楽しみができました。大リーグ・大谷翔平選手のニュースを見ることです。打てばホームラン、投手でもあり、足も速い。オールスターでは、史上初めて先発投手ながら1番・指名打者で出場し、誰よりも速い球を投げ、勝利。観客を熱狂させ、選手達からも絶賛されています。彼の活躍を見聞きでき、次はどんな偉業を達成するのだろう、と夢を見させてくれることに幸せを感じます。

暗いニュースが多い中ですが、皆さんも何か幸せを感じるひとときがありますように。(佐藤 健太 記)

## 編集発行

水戸市社会福祉協議会広報紙編集委員会  
社会福祉法人水戸市社会福祉協議会  
〒311-4141 水戸市赤塚 1-1  
(水戸市福祉ボランティア会館内)  
TEL 029-309-5001  
FAX 029-309-5525  
URL <http://www.mito-syakyo.or.jp>  
E-mail [syakyo@mito-syakyo.or.jp](mailto:syakyo@mito-syakyo.or.jp)





(シンボルマークと標語)

# ボランティアセンター だより

問合せ・申込み等

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター  
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)  
TEL 029-309-1011 FAX 029-309-1139  
<http://www.mito-syakyo.or.jp>  
月曜日～金曜日 9:30～16:30



奉仕の芽 ふやそう のぼそう 地域から



「mito子どもボランティア隊」(子どもたちのボランティア活動推進講座)は、市内の小学生を対象に、ボランティア活動や福祉学習を通して、人との繋がりの大切さやボランティアをする楽しさなどを知ってもらうための事業で、月に一回程度、活動しています。(登録者21名。今年度の受付は終了。)

今回は、水戸市田島町の障害福祉施設「もちの木作業所」にご協力をいただき、施設の皆さんが育てた野菜の収穫と出荷までの体験作業をさせていただきました。メンバーは慣れない手つきながらも丁寧に園芸バサミで、キュウリを次々と収穫して

いきました。そのあと、採れたてのキュウリ3本を袋につめ、器械でテープを巻いて閉じるまでの作業を体験しました。

この日は、朝から強い日差しで気温も30℃を超える厳しい暑さの中でしたが、自分で袋詰めをした瑞々しいキュウリを手にして、充実した表情を見せ、笑顔が溢れていました。

子どもたちにとって夏休みのいい思い出と共生社会について理解を深める時間となりました。体験をすることそのものが目的で終わるのではなく、子ども達のより良い成長につながるような企画を今後も考えていきたいと思えます。



## あつたが通信 園芸ボランティア「花hana」

代表 稲葉 実

私たち、園芸ボランティア「花hana」は、昨年度の園芸ボランティア養成講座に参加した花が大好きなメンバー7名により、今年4月に発足したサークルです。

現在までにミオス2階の自由通路にあるプランター(7か所)の花の植え替えや管理、いきいき交流センターあかね荘の花苗植え付けによる花壇づくり、高齢者・福祉施設等の緑化活動を行ってきました。

今後も花と緑をとおして住みよい地域づくりに参加していきたいと思えます。また、毎月2回の定例会も楽しく実施しています。

ご興味のある方は、ボランティアセンターまでお問合せください。



### お知らせ

★第20回ボランティアまつり in ミオス

日時 10月17日(日) 10:00～14:00  
場所 市福祉ボランティア会館(赤塚1-1)

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。